

# 会 議 録

|                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議名称             | 平成 28 年度 第 7 回柳川市総合計画審議会                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 日 時              | 平成 29 年 2 月 13 日 (月) 午後 3 時～午後 4 時分                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 会 場              | 城内コミュニティ防災センター                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 出席者<br>(欠席者は枠囲み) | <p>【委 員】馬見塚 英典、太田 豪、新谷 将史、富安 信一郎、川津 匡宏、太田 達明、<u>松尾 美智代</u>、片山 潔、富田 信雄、山下 宗利、瀬戸口 京子、益田 幸、伴 和美、松延 享朋、清澄 由美子、作本 憲行、<u>上田 恵佳</u>、<u>待鳥 暁子</u>、生田 裕子、中村 国保、<u>長嶋 真穂</u>、平川 裕香</p> <p>【事 務 局】成松副市長、高崎総務部長、梶島企画課長、古賀企画課長補佐、野口企画課総合戦略推進係長、企画課総合戦略推進係松藤、宮部</p> <p>【関係部長】<u>亀崎議会事務局長</u>、石橋市民部長、原保健福祉部長、<u>大淵建設部長</u>、成清産業経済部長、樽見教育部長、橋本消防長、<u>田尻会計管理者</u></p> |
| 次 第              | <p>1 開 会</p> <p>2 資料確認</p> <p>3 議 題</p> <p>(1) 総合計画答申(案)の修正箇所等について</p> <p>4 答申</p> <p>(1) 答申</p> <p>(2) 委員からのコメント</p> <p>(3) 市長あいさつ</p> <p>5 閉 会</p>                                                                                                                                                                                                 |
| 会議資料             | <p>■当日配布</p> <p>第 6 回審議会議事録</p> <p>第 7 回柳川市総合計画審議会次第</p> <p>第 2 次柳川市総合計画答申(案)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                    |

## 1 開 会

高崎総務部長が進行

## 2 資料確認

事務局より配布資料の確認

## 3 議 題

### (1) 第2次総合計画案について

事務局より「第2次柳川市総合計画基本計画答申案」について、前回からの修正箇所、今後のスケジュールについて説明。

(□は委員発言、■は関係部長発言)

ご意見なし(承認)

## 4 答申

### (1) 答申

山下会長、清澄副会長から市長へ、答申

### (2) 委員からのコメント

□大変勉強になりましたし、柳川の実情も分かった状況です。農業分野ということで、農地も半数以上を占めておりますし、農産物についても、大豆、小麦は県内一位でございます。主力の農産物もございますし、柳川市としても第一次産業ということで、いろいろ力をいれていただいております。今後、大規模施設を整備するようにはしておりますが、この点については、市の方にもご迷惑をかけているところでございます。なお一層、農業分野の発展のために、今後とも努力をしたいと思っております。

今回の審議会を通じて、一番感じたのは、今後の柳川市の人口が激減するということです。少なくなるということは分かっておりましたが、これほどまでに減るのか、というのがびっくりしたところでございます。やはり、これをいかに歯止めをするのか、が今回の審議会でも議論されたところではないかと思っております。是非、今回の審議会の中身を一人でも多くの方にお伝えをしたい。それから、柳川市を愛着のあるまち、ということで、今後とも伝えていきたいと考えています。大変勉強になりました。ありがとうございました。

□水産の立場ということで、今回携わってきておりますが、柳川市は有明海に面して、特に海苔産業が非常に全国でも多くの水揚げを誇っておりますし、かなり重要な産業だと認識をしております。ただ、柳川市においては有明海の再生ということで、平素から大変なご尽力をいただいております。海苔は、今年は若干栄養塩不足という不安材料も抱えておりますが、相場に助けられて、最終的には平年並みの水揚げになるものだとは思っておりますが、みなさんご存知のように、タイラギについては、5年間休業ということでもありますし、やっとな、アサリにつ

いては、回復の兆しも見えておりますが、まだまだ、有明海再生は道半ばということで、漁業者も大変不安を持っておるところであります。また、漁業者も後継者不足ということで、市の人口減少と一緒に大きな課題かなと思っておりますが、この計画を基に漁業団体としても精一杯の協力を惜しまず、この計画が実現されるように精一杯頑張っていきたいと思います。この計画の中に参加させていただいて、まだまだ柳川市が発展できるものと、すばらしい計画だと、認識を新たにさせていただいたところです。今後どうぞよろしくお願いいたします。

□今回、初めて、審議会という場に参加させていただきまして、大変勉強になりました。資料も毎回分厚くて、なかなか目を通すというのがいかなかったというのもありますけれど、参加する度にいろんな業種の方々、業界の方々と意見交換をできまして、大変勉強になったと思っております。商工会議所としまして、今後人口が減少するというのは、もちろん分かっていることでございますけれども、計画が現実となって、人口減少を食い止めるのが、柳川市の商業にも繋がってくる、活性化にも繋がるかと思っておりますので、微力ながら、商工会議所も参画をさせていただいて頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

□2020年オリンピック・パラリンピック開催に向けて、これから海外のお客様、益々増えてくると思っています。観光協会としても、海外、国内両方の面で誘致活動をやっていきたいというふうに思っております。それから、防災の面ですけれど、やはり、地震とか火災、風雨、水害等々たくさん起こっております。こちらの面に関しましても、市と協力をしまして、安全、安心ということで力を入れていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

□今回、総合計画審議会の委員として携わらせていただきまして、どうもありがとうございました。西鉄の方も、インバウンドのお客様をはじめ、国内、海外のお客様を柳川市に持ってくるために、様々な政策を考えるというのは、当然ながらしていきたいと思えますし、お客様、地域住民の足をしっかり守っていく、確保していくというのも役割というふうに思っております。将来像であります「水と人とまちが輝く 柳川」に向けて、私たちが何をやっていくべきかということを考えながら、今後とも取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

□私の考えは、国が大胆政策を行わない限り、このまま人口は減少していくと思いますので、なるべくコンパクトなまちづくりを目指して、小中学校の統廃合を考えての土地計画、用途地域の全体的な見直しを考えてほしいと思います。

□この計画が具体性、あるいは実行性あるもの、そして実現可能性が高まるようにと、こういうことを念頭に意見を述べさせていただきました。特に、人口減少対策という観点から申し上げますと、外からの移住者はもとよりですけれども、現在、柳川市に住んでらっしゃる方々にも良さを知っていただく、再認識していただくということ、そして、また住み続けてもらうということが大切な視点ではな

いかなというふうに考えております。このことから、この計画の決定の際には、是非とも住民の方、将来を担う子どもさんにも是非、いきわたるように工夫をしていただければと思います。ありがとうございました。

□ 昨年の4月の異動で柳川支所に参加したのですが、初めは柳川市について分からなかったのですが、この総合計画審議会を通して、一つずつ勉強させてもらって、かなり詳しくなったと思っております。

私の立場的には、社会資本整備の点から、微力ながらこの計画が実行性あるものになるよう支援してまいります。今後とも、何かあれば私の方に言ってもらって一緒に知恵を出して、人口減少をなんとかしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

□ 答申について、今まで協議してまいりましたけれども、教育委員会としても、今、先生方、教育長はじめ、皆さん頑張っております。小学校の学力も随分伸びている状態です。ただ、どうしても中学校の成績が伸び悩んでいます。今、中学校の方を教育委員会の方からこ入れをして、頑張っております。柳川市の人口を減らさないためにも、柳川市の教育がいいということが、皆さんに分かってもらうように頑張りたいと思っております。市民のみんなもお互いに協力して頑張りたいと思います。

□ 晩婚化、少子化の話題のときには、耳が痛いなというような感じで、目を背けたくなるようなときもあったんですが、この会議で得た情報を職場に持っていったところ、柳川市民の人でも知らないことが多いなという印象を受けました。パブリックコメントももうちょっとあったほうがいいのかというふうに感じました。学校としましては、来週のクリーンアップ大作戦に参加させていただきますので、そういう形で多く協力をさせていただけたらなと思っております。よろしくお願いいたします。

□ この会議に参加して、思ったのは、柳川市主催で計画されていて、今年の2月3日に、早速インターンシップが行われました。市内企業10社を市で計画されて、生徒達のアンケートをみると、柳川市にこんな企業があったのかというのが分かって本当に良かったというのをアンケートにたくさん生徒が書いておりました。すごくためになったのではなかとと思います。例年、柳川市内の企業に就職している生徒は10人程度でしたが、今年は、95名の就職希望のうち19名の生徒が市内の企業に内定をもらっています。参加させていただくことにより、生徒へのコミュニケーション能力、柳川市に対する愛着心を話すことにより少しずつ地元への郷土愛も出てきたんじゃないかと思います。こういう会議に参加させていただいて本当にありがとうございました。

□ 昨年の4月に柳川へ転勤してまいりまして、初めてこういう会議に参加させていただいて、非常に貴重な経験をさせていただいたというふうに考えております。なかなか不勉強だったので意見等出せずにおったんですけれども、会議を通じて政策目標である、柳川に対して愛着を持つというようなことが経験できたのではないかなというように思っております。金融機関として、前面にたって計画を推進し

ていくという立場にありませんけれども、計画の進行にあたりまして、金融面でのしっかりしたバックアップを各行、金融界一団となってさせていただきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

□情報企業ということで、柳川市総合計画審議会に委員として参加させていただきました。ありがとうございました。私も、住まいが玉名で、勤め先が大牟田で、柳川のことは不勉強で今回初めて、いろいろ勉強させていただきました、大変ありがとうございました。私なりの意見もいっぱい言わせていただきましたこの柳川市総合計画が、今後の柳川市の発展に少しでも役立っていただいて、人口減少を食い止められるものと思っております。大変ありがとうございました。

□子育て支援関係の方から参加させていただきました。今、ちょうどニュースとかで保育園に入れなかったとか、そういうニュースが賑わせているんですが、柳川では今の状態では、ほとんど入れる状態ですけれども、年度後半では、0歳が入れない状態です。ただ、会議でも出ましたように、これから子どもの数が減っていくって、子育て支援関係も数ではなくて、中身、内容の充実が求められるんだなとつくづく考えさせていただいておりました。また、これだけたくさんの分野の方達の働きがあって、子育てができてるんだな、というふうに新たな意味で再認識もあったところです。お母さん達や子供たちが、柳川市に生まれて、ここで子育てして本当に良かった、と言われるようなまちになるように、私もいろいろ頑張っていきたいな、と会議を通して考えさせていただきました。本当にありがとうございました。

□数年前まで柳川市の行政区長会の会長をしておりました。退職しまして数年立ちましたが、老骨に鞭打って公募に応募させていただきました。誠に喜ばしく感じますことは、この柳川市は、人口減少やいろんな問題を抱えて、苦しい立場にある現在、柳川市総合計画審議会という会議が開かれまして、こういう審議をもたれたこと自体、非常に喜びを感じるものでございます。柳川市も琴奨菊の優勝とか、坂井聖人選手の銀メダルなど、知名度は全国に上げつつあります。これも一つの起爆剤として、今後、柳川市が住みよい、非常に環境もいいまちとして、転入者が増えていくことを願いながら、金子市政のリードの基に益々発展していくことを心から念じるものでございます。

□私は市民として参加させていただきました。この審議会に参加させていただくようになってから、柳川市に関する行事ごとや情報などをフェイスブックや市コーナーで目を通すようになって自分自身の柳川市に対する関心がとても高まりました。第2次総合計画とともに柳川市民の方々も自分の住む町に対する関心が高まり、誇りや郷土愛がもっと増えていけばいいと思います。ありがとうございました。

□私どもがやっておりますのは、福岡で働く女性向けの情報発信ということで、情報誌、ウェブ等をやっております。ここで、昨年の夏に、柳川の記事をご紹介させていただきました折に、柳川の和牛とカレーというところが、かなりPVを上げまして、人気を博したというところがございます。イベントとしては、秋や春

に、女子旅駅スポということで、約300人ほどの地元福岡の女性が集まられるんですけども、1回目の開催の折の1番は、こちら柳川市でございました。私自身、「水郷やながわ」は大好きでして、夏に、秋の白秋祭にと、個人的にも足を運ばせていただいております。福岡県下において、大豆や小麦は県一番である、有明の海苔は、確か全国の49%程を生産というふうにも聞いております。本当に、他が持ち得ない財産を持っていられしやるのが柳川ではないかと常々思っております。余談になりますが、2月5日に小泉進次郎氏がおいでになりまして、1000名ほどお集まりになりまして、そのときのタイトルが「ないものはない」、減るものは減るという、タイトルでもってお話をされまして、島根県の海士町、2500人しかいない人口の島が、今非常に発展している。地元のかきを冷凍で、関東や関西に即日動かして人気を博しているというような話をされていまして。2500人しかいない町の島民が頑張ろうと思えば、そういう結果を出している。ここで、ないことを憂えるのではなく、あるものを活かそうではないかというふうなメッセージに、私自身は受け取りました。柳川は、本当に、地元の生産物、自然の豊かさ、皆様の真摯なる姿勢というものが支えるまち、だと、私は、端からですけども、見させていただいております。どうぞ、まず、自信を持たれるということが、こういった会の、ある意味大事な大事な部分ではないかなと捉えております。ありがとうございました。

□ 昨年の6月から8か月間に渡り、皆様に出席いただきまして、議論いただきました。多様なバックグラウンドをお持ちの専門の方々、そして市民の方々から、多様な意見を十分に引き出すことができたのかどうか、私のつたない議事進行で、みなさんの意見が十分に反映できたのかどうか、ちょっと疑問が残るところでございます。その点、お許してください。柳川におきまして、地域課題が顕在化してきております。従来は、地域内だとか集落内で結束力を用いて解決した課題が、現在では、人口減少、高齢化、若者の流出、そして、農業や漁業の後継者の問題、中心市街地の疲弊、様々な課題が浮かび上がってきております。これまでは、先ほど言いましたように地域内の人々だけ頑張ればクリアできたことも、今では相当難しくなっておりまして、外部の人々、特に、この場にお集まりの人々、先生方、委員の皆様、とても能力をお持ちで、自分の意見をお持ちで、地域の中で活躍できる資質というものをお持ちでございます。そのような人たちが、これまで行政から市民に、地域に直接働きかけたことを、橋渡しするような役になっていただきまして、行政から橋渡し役として地域の中で活躍するという場がこれからも増えてくるかなというふうに考えております。柳川は、自然豊かで、豊富な農産物、海産物、そして豊かな歴史、そのようなものに恵まれた、非常に素晴らしいところがございます。特に、観光というなものも軸に、交流人口を増やしていけば、もっと素晴らしいまちになり、また、子どもたちが地域に誇りと愛着を持つ、そのような地域づくりができるのではないかなというふうに考えております。今回、私どもが皆さんと一緒に作成しました総合計画、これが、今後、しばらく柳川の地域にとりまして、素晴らしい計画になることを祈念しております。

最後に、なりましたけれども、この答申をまとめるに当たりまして、事務局には大変お世話になりました。ありがとうございます。これから、市民の方々にこれを提示する前に、また少し、文言を修正することもあるかと思いますが、よろしく願いいたします。どうも、ありがとうございます。

### (3) 市長あいさつ

柳川市長の金子健次と申します。市長就任いたしましてから、ちょうど、丸8年になろうとしております。4月23日で2期目の任期満了ということでございます。元々、行政職の人間でございまして、合併前は、三橋町、大和町、柳川市という構成団体だったんですが、その三橋町の職員でございました。新しく市の職員として加わって、途中、定年退職1年前にチャレンジをして、市長になって約8年になるということでもあります。今日は、総合計画が出来上がりまして、山下先生のほうからお話いただきました。清澄副会長からも、外から見たお話をさせていただきました。今日は、市内の方はほとんど、既に、8年の間に、いろんな形でお話をした方ばかりでございます。多様な意見を出していただいたかな、というふうに思っております。また、市外の方も、外からみた柳川という意見を述べていただいたかなというふうに思っております。

合併しましたときに、人口が76,000人近く、現在が、国勢調査では、67,777人。7が4つ並んだんですけれども、7が一番最初にくればいいかなと思ったんですけれども、これは無理だな、というふうに、今考えているところでございます。

今日は、台湾の郭先生という方に観光大使の委嘱をいたしました。今、インバウンドという形で、柳川には15万人の観光客がいらっしゃいます。全体的には、136万6千人ですけれども、外国からのお客様が2桁に入ってきておりまして、そのうちの台湾が60%近く、9万近くでございます。そういうことで、柳川で取り組んでおりますのが、地方創生のお金をいただきながら、「やさしい日本語」という形で、お土産店のおばちゃん達が「英語は話しきらんばってん、日本語なら話しきたい」ということで、そういう取り組みを始めて、船頭さんやタクシーの運転手さん、ホテルの方とか、色んな形で取り組みを勉強して、柳川方式を全国に発信していきたいというふうに考えております。内閣府の方に相談をしまして、地方創生のお金がついたところです。

また、先日は、1億近くのお金を申請しまして、市街地を中心とした観光、見る観光から体験をする観光という形で、有明海の沿岸にくもで網を7基据えています。そういう体験をする観光を含めて、これからやっていきたいなと考えております。そういうところでも、補助金がついたところです。国が助成してくれると私達も責任もありますので、これから取り組みをしてまいりたいなというふうに思っております。

10月場所で、大関が3月で関脇になりますけれども、電話がありまして、「市長、今後は関脇になっても頑張りたい」と。「頑張ってよ。子供達も期待をして

いるし、あなたがくれたワッペンをもつ子が3500人もいるから、子供達も一生懸命夢をいだいて頑張っているから、頑張ってもらいたいと。柳川のファン、福岡のファンというのは、つらいときに応援するのが私達の役割、3月、怪我を早く治して、頑張っていたきたい。」という話をしたところでございます。

また、坂井聖人君は、昨年5月、福岡で壮行会をしたときに「大関が勝つと花火が上がります。それを小さい頃知っていましたので、私が入賞したとき、花火を上げてもらえませんか」ということで「いいよ。いいよ。」と。予選、準決勝でもタイム的には6位だったのが、1位か2位か分からないようなタッチの差で、沸きに沸きました。大関に市民栄誉賞を授与していましたので、彼が帰ってきたときに、市民栄誉賞を授与したいといったら、断りまして、「自分は4年後の東京オリンピックで、金メダルを目指します。」と。本当にそれは、賞賛をされまして、応援しようじゃないかということになりました。

そういう若者達が頑張っている姿が将来を担う子供達にも感動を与えるというふうに思っております。柳川に、生まれて良かった、育って良かった、柳川を出て行く人もたくさんいらっしゃると思いますけれども、将来、自分のふるさとに戻ってもらいたい。そういう、まちづくりをこれから、やっていきたいなというふうに考えております。このような形で、いろいろな外部分野の団体の委員の皆さんの貴重な意見をいただき、おそらく7回のなかで意見をいただいて、これが成案されたというふうに思っておりますので、今後、議会へ通しまして、きちんとした柳川の素晴らしいまちづくりのため、ご支援をいただければというふうに思っております。

どうも本日は、誠にありがとうございました。

## 5 閉会